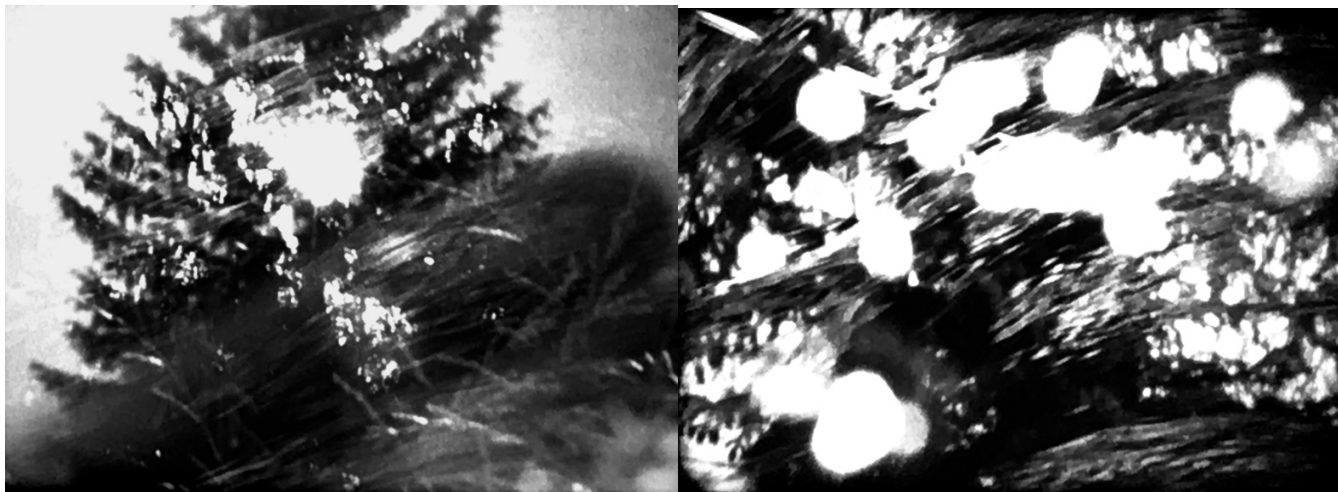


アナログ多重露光映画の魅力

8mm/16mm の映画からカメラ内多重露光の可能性を探る



『Perception』より

多重露光とは、写真や映画撮影における技術の一つで、1コマの中に複数の画像を重ね込む手法。多重露出、二重写しとも言われています。

いまや、スマホのアプリや編集ソフトで誰でも簡単に多重露光が楽しめる時代になりました。そんな時代に映画カメラの内部でフィルムを〜撮影しては巻き戻し、巻き戻しては撮影する〜を繰り返すという、やり直しの効かない超アナログな手法でつくられた水由章の映画を上映します。新作『Perception』上映後に解説あり。ゲスト作品として石川亮さんの作品も上映。

上映作品

『瞬息』水由章 8mm/カラー/3分/1997年

『木綿たり／MOMENTARY』水由章 16mm/カラー/4分/2017-18年

『Perception』水由章 16mm/白黒/8分/2019年（解説付）

『signify』石川亮 8mm/カラー/5分/2019年（ゲスト作品）

2019年**7月26日**（金）**20時**（開場 19:45:／終了 21:30）

会場：市民交流スペース カエルハウス（東京都小金井市中町 4-17-11-1F）

（JR 中央線武蔵小金井駅南口徒歩7分／問合せ：☎042-380-8270/info@mistral-japan.co.jp）

資料代：500円 定員 25人（狭いスペースですのでできるだけ予約をお願いします）

主催：ミストラルジャパン 協力：SpiceFilms 日本映像学会アナログメディア研究会